滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號仁十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登一月者每行每日一角登長年者價當面議從減
每張四百文

一連紙 一連 一圓
一フールスカップ 全 四圓
一中判洋紙 全 二圓
一半紙 百枚 二十錢
一寒紙 四十枚續 十四錢

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所
横濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺

電話 十番 支配人室 百八番 事務室

横濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告

竹島丸 四月廿日 大沽、芝罘、長崎 門司、神戸行
營口丸 四月廿六日出帆 太沽、芝罘 門司、神戸行

乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口代理店 旗昌洋行 (電話廿六番)

瀛船出帆廣告

日勝丸 四月十八日午 門司、四日市行
日頼朝丸 仝廿日 門司、神戸行
日海丸 仝十九日入港

乘船切符は弊行にて發賣仕候

注意

弊行取扱瀛船積載貨物に對しては無手數料にて迅速叮嚀を旨とし税關に對する一切の手續を取扱仕べく候

松茂洋行船舶部 (電話五二番)

新荷着

朝日ビール
スペシャル、ライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部 (電話五二番)

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色像具無不合宜且價值格外從廉兹已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞此本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需國本主人啓

宅合名會社分莊

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印并切雜貨其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋緞子洋胰鑑表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸

運輸部

這般特得官准開設火車轉運行於東西兩店并牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚

總司理人田中賴之助謹白 電話 東店五五 西店一〇三

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行并滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷

總司理人 葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之

正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寛大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞

本主人敬啓

仁裕號

係裝運各幫火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈

營口西大廟街路北營乙第十三號

丸三洋行分莊

啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面閲是幸

丸三洋行分莊謹啓

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議

西北街 東櫃 (電話九十五番)
西義順棧內 西櫃 (電話九十八番)

代代木烟公司

本行專售 日本官造紙烟 星象牌(斯達) 櫻花牌(揺利) 百合花牌(利利) 均已馳名内外茲特選上等烟料加工精製 雙仙鶴牌(隆沽來福) 清香撲鼻佳美適口而價值極廉 諸尊欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元探買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船

摩耶山丸 頼朝丸 專往東洋各埠

啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客税已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大無至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行幷各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本清酒一概俱全有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷

松茂洋行 (電話五十二番)

三井洋行

電話 第六十六號 第九十一號

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近恕蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部

今回倉庫所在地(靑堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候

(電話百二十八号)

經理

○明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米

○東京水險公司

啓者本公司開設在三井洋行内已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

電話 第六十六號 第九十一號

生徒募集

營口瀛華實學院 招入學生

本學院對業語生勉着成效惜昆從去歳當有陸續來學者本學院雖亦收人然所々不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寛宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生幾額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名毎日上午九點鐘キ下午四點過期不候特白

營口瀛華實學院

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し曩に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし

營口 瀛華實學院

新荷着

▲板材木 ▲木炭
▲牛石灰 ▲竹
▲亞鉛板 ▲洋釘
▲日本米 ▲疊

(電話八十一號)

喜久洋行

(電話百五十二番)

東清鐵道 裕和盛運輸局

在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本號向在日本長崎開設數十年幷分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟并代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧

總司理主人 周鶴雲
運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

税關手續

一船舶代理
一貨物取扱
一委托販賣

弊公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般業務ヲ擴張シ艀船、市内貨物運搬及貨物保管等賴實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依確ニ應シ御立換可仕尚其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也

營口英國領事館東首 綏定門街第五〇

三仁公司 (電話一五〇號) 小島榮歳

上海 中井洋行

專運日本各式紙料

本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙訂莊票包棉紗料草板紙張り本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也

中井洋

丸重洋行 貨物運輸

啓者 本行前在營口臺會雜貨已有年今經關東總督府之特准開辦東清鐵路運貨不論貨種多少以安全迅速誠實廉值籌貨主之利便爲旨 如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或牛家屯火車站構內分莊面議不悞

電話 營口拾六番 牛家屯四拾八番

東洋號運貨局

本局新設新民府今經官准由新民府至奉天輕便鐵路開辦運貨凡鐵路運貨比之車運速而廉乘人所知也本局所辦事宜誠實爲旨懇切受托電叟不欺且運費格外公道以籌貨主之利便不論貨種多少論担算或論噸算均可倘有遺失壞本局照價賠償若需客票本局亦可飭人代買如蒙仕商賜顧請至本局或奉天支局面議寄貨可也特此週知

新民府輕便鐵路火車站東洋號運貨局本店
奉天輕便鐵路火車站東洋號運貨局支店

鐵嶺奬學彩票發售

由五彩至八彩共計八百貳拾六彩

彩票數 貳萬號 每號出售 票洋壹圓

一頭彩一號 得六仟圓
一貳彩一號 得三仟圓
一三彩一號 得壹仟圓
一四彩一號 得五佰圓

四月末日開彩

鐵嶺軍政署內奬學會彩開

營口天順吉代售

齒科名醫到營

治療齒痛之法爲衛生上必要之一端尚未可以等閒視之也然本埠竟無良醫余甞深以爲憾頃二志士特請居留天津之齒科名醫田添豐二君來營即在舊高田洋行内從事治療先生前在天津法租界開業久爲中外人所信服其技術之良否茲不復贅如有患齒疾者請速至該處診視愼勿失此機會特此聲佈

營口有志者白

太古輪船公司

啓者本公司自派溫州牛莊兩輪專走營口登州龍口一往一來接續不斷搭客配貨均由本行碼頭上落甚屬利便水脚素來公平船上應酬搭客無不週到歷經數年遠近馳名知者稱便用登報端以期廣告

營口 太古輪船公司

料 一長期連掲減價面議
清國營口中盛街 發行所 滿洲日報社 (電話二九番)
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office. Newchwang.
Telephone No. 29.

東京電報

●安奉開放と露人

安東縣は五月より奉天は六月より何れも開放せらるゝとは既電の如くなるが露國人民は軍隊引揚規定に依り當分の間未だ來往を許されざる筈なり（十七日午後零時三十分發電）

倫敦電報

●米國軍艦爆發

米國軍艦「キールセージ」に於て砲射の演習中爆發起り尉官一名水兵五名即死し多數の負傷者を生せり

●大統領と相續税

米國大統領ルーズベルト氏は其演說に於て一個人をして或る制限以上の財產を有せしめざらんが爲めに暴富者の遺產相續者に對して進率的相續税を賦課するの必要あるべしとの旨を言明せり（以上四月十六日發電）

雜報

●吉林雜觀（三）
吉林に於ける露兵
一樓客

義和團事變は露國が滿洲侵畧を實行する唯一の機會なきり滿をし持機を窺ひ居たる露國は此好機に乘じ得たり賢しと大兵を進め北滿洲より南滿洲に蟠居するに至りぬ吉林省城に露國軍隊を看たるは實に當時を以て始めなりと爲す露の將軍吉林城を蹂躙せんと馬を城門に進むるや省城の清國官吏は飛魂狼狽し居民亦上を下へと騷動し今にも鐵火の巷に變せんとする狀況なりき然るに程德全（現任黑龍江將軍）なる一官吏あり狼狽せる幾多の官吏を叱咤制止し機敏にも城門を開き挺身露將を迎へて曰く城内に　人の匪徒なく官吏も居民は露軍の入城を歡迎すと茲に於て露軍は靜粛堂々城内に入り省城は爲めに兵火の慘を免れ居民は爲めに鐵火の御見舞を受けざることゝなれり夫れ斯の如く吉林に於ける露兵は其最初の入城に於て意外にもスラーブ獨特の亂暴狼藉を働かず至極平穩なる行動なりしゆへ省城官憲及居民も案外に歡迎したるものゝ如し爾來露國は一意吉林地方の民心收攬に力め官吏を買収し紳董を籠絡し漸次露化せんことに努力しつゝありき日露戰爭に際し露國は吉林を物資大供給地と爲し吉林商人を四方に派出して兵站御用に從事せしめたりき吉林及吉林商人等が如何に露國の爲めに貢献せしかは露國彼れ自ら深く詳知する處ならん日露間平和克復するや露國は吉林駐屯軍を引揚げ之に代ふるに本國よりの新來兵を以てせり現時吉林省城に駐屯する露兵は則ち此四千餘の新來兵なりと爲す是等の軍隊は城外に建築せられたる兵營又は徵發せる民家に屯住し其旅團司令部は城内の一官衙に置かれたり戰敗後の露軍は清國官民に對し一層平穩なる態度を採りつゝあり省城内外の街頭若くは附近村落の巷街に　示を爲し露兵の亂暴行爲あらば遠慮なく露國官憲に訴ふべし露清兩國民の爭議は公平に裁斷すべし清國貧民又は病患者は露國病院に收容すべしなど專ら清國の歡心を買ふことに努む又露兵に對する訓示は清民に對し粗暴の行爲あるべからず就中婦女に對しては文明的態度を以て遇すべし凡て物品は相當の代價を以て購入すべし清國飲食店に立入る可らずなど頗る行屆けるものゝ如し如上の告示若くは訓示なるもの果して克く實行せられ居るや否や頗る怪むべしと雖も露國當局者が如何に清國官民懷柔に苦心しつゝあるかを知るに足らん新舊露兵交代の期に際するや吉林將軍は城内の大茶園に於て二日間燕宴を張り露國將校等及清國官民を招待して留送別會を開催せり當時達將軍盃を擧げて曰く吉林省の安寧秩は露國軍隊に依つて維持せられたり吉林の官民は露國軍隊に對し深厚なる敬意を有す我等は新來軍隊に依り今後一層安寧の維持せらるゝを信ず露國は吉林の恩人なりとザー萬歲露國軍隊と一上に此の如きの將軍ありて下に露國籠絡中の官吏等あり吉林に於ける露兵の清國官民に氣受好きこと豈に偶然ならんや四千余の露兵吉林官民を威壓するには充分なり而も彼れ露國は威を示すと共に恩を賣り義を施し以て其根帶を扶殖しつゝあり吉林よりスラーブ風を一掃する頗る難事たらずんばあらず吉林第二の主人公たるもの熱慮せよかし（未完）

●昌圖公主嶺間鐵道受領

東清鐵道引渡條約により昌圖以北鐵道受領期愈ゝ近日に逼りしを以て受領の爲め總督府工兵部長中村少將參謀本下中佐總督府附渡邊中佐及び堀技師の一行は受領委員として明十九日遼陽出發の由なるが今回受領すべき區域は昌圖公主嶺間にして其以北なる長春迄は第二回にして多分來月末頃受授を行ふべしといふ

●秦皇島の各國駐屯兵

秦皇島は北清事變の際各國兵の上陸せる地點にして其後引續き各國の占領せるものにして不日清國へ還附せらるへき筈にて還附の上は改めて我政府にて同地を租借すへき事と爲るへしと傳へらるゝが目下同地に駐屯せる各國兵佛國大中尉各一名兵五十人と海軍陸戰隊大尉一名兵十八獨乙は少尉一名兵九十二人日本は中尉一人下士二人看護手一人兵二十八人なりといふ

●寬城子方面の金銀相場

此頃寬城子方面より來りたる者に就て聞く所に依れは同地附近にても我軍用手票は流通の景況可なる由又同地は小錢を用ゐず中錢を用ゐ居るか其金銀及銀票等の相場を揭くれは左の如しといふ

現銀	一兩	三吊五百四十文
吊は中錢の相場即ち小錢の約三倍		
吉銀	一塊	三吊二百文
外省銀圓	一塊	二吊二百文
日本軍用手票	一圓	二吊四百文
之を昌圖附近に比較する時は小錢に直して約二百文低し		
露國銀票	一圓	二吊五百文
赤金	一兩	銀卅九兩乃至四十兩
金沙子	一兩	銀三十五兩

又勞働賃錢の如き大車一日五圓内外苦力一日八十錢内外なりと云ふ

●清國郵便局の開始

我滿洲軍の撤退につれ漸次郵便事務を清國に還附する筈にて已に還附濟と爲れる所數個所あり岫巖大孤山の如きは此程還附を終へ已に清國郵便局の開始を見るに至れるを以て今回營口より確實なる郵便物送達人を該地へ出發せしめたる由なれば今後滿洲の清國郵便事務は露國占領時代よりも大に其面目を一新すべしといふ因に鳳凰城の清國郵便局も近日中に開局せらるべしとなり

●哈爾賓附近の日本商品

露下哈爾賓附近に迄我商品の侵入せるは煙草にして其價二十本入一個二十錢にして三倍以上の高値を保ち居る由にて日本酒の瓶詰にしたるものも多少入り込み居れりと是等は如何にして同地に迄輸入せられしやは知るに由無しと雖も交通の尙自由ならざる今日我商品の早くも彼地に侵入し多少露人の嗜好に投ずるの傾向あるは最も喜ぶべき現象と爲す因に寬城子に於ても朝日煙草一箱五十圓内外の高價を示し居れりといふ

●人物月旦
松倉善家君（下の下）
覆面郎

由來大隈伯は一面に於て大名然たる風あるの人にして、新に人に會ふ時の如き必す紹介狀を必要とし、輕卒に面會を許さず、松倉氏は之を知れる者なるか否、一日腕車を飛はして勢よく伯を早稲田の邸に訪ひ、玄關に面ー刺を出して面會を求む取次の書生問ふて紹介狀の有無を以てす、彼れ平然として其の持たさるを答ふ、取次の書生靜にに告けて曰く、新に伯を訪ふ者は紹介狀を持たさる可らす、即ち紹介狀を持たさる新き來訪者は、伯爵邸の家憲 照し取次、能はす、強て面會せんと欲せは、若かす紹介狀を持し更めて來訪せんには、彼れ昂焉として答へて曰く、抑も紹介狀なる者は、一段上の人物より一段下の人物に紹介すへき場合に記す可き者也夫れ伯は天下の名士也伯を紹介する者知らす今ま天下の何人かある、我の紹介狀を持たさるは持たさるにあらす持つ能はさる也、請ふ語るに伯に此言を以てせよ、書生即ち詰に窮し遜々奥に入り伯に會ふて語るに彼の言を以てす、流石に伯は天下の名士なるかな、即ち其言を以て妙なりとなし、書生に其の案内を命す、玄關に在り伯の返答如何にと手に汗を握りて待ちつゝありし彼は、暫くして書生の出で來り、伯の快諾せし旨を答ふるを聞きて雀躍し、案内に從ふて應接の間に入れり、面會の論判既に妙也、其語る所果して何物ぞとは、云はすして伯の胸中に想像せられ、彼は慇懃に挨拶し借て其抱負に付て述へて曰く、想ふに清國の經營は夫れ信長の故智を習ふに在るか、親く清國を視察するに、其の南方は列强の商權既に確立して復た動す可らさる者あるも、獨り其の北方は土地肥へ住民豐なるも、列國の利權は未た甚た薄弱なる者あり、即ち乘して帝國の地歩を占むる敢て難しとせす、夫れ然り、今我國に於て南清に商勢の擴張を企圖するは、宛も上杉武田の猛將に桔抗して、軍務を疲弊するも同し、勞して効なきは勿論、又た爲に時機を逸するの恐れあり、蓋し抱負ある名將の執らさる所ならん、若かす、南清は暫く列强の角逐に任せ、我國は當に間に乘して北清に商權の獨立を企てんには、即ち之れ信長の故智を襲蹈する者にして豈に智の方法には非るなからんかと、伯聞き終りて破顔一笑、妙を以て答へたりと云ふ、又以て彼か當時の抱負と意氣を窺ふに足るへし、願ふに松倉氏か農商務に出頭して氣勢猛烈、昂焉として臨み、傲然として語り、憤然として罵り、憶する所なく、憚る所なく、顧る所なく、唯た意に從ひ、心に任せ、情に任したる者は、斯の如く其前に於て、伊藤大隈等の大政治家を歷訪し、抱持せる北清經營の意見に對し、誅め其の贊成を博したる者之れありたるか爲めなりしならんか、否乎、松倉氏は商業家にして商業家に非す、唯た夫れ松倉氏は商業家にして商業家に非す、故に何所に出るも憶する所あらす 憚る所なし、顧る所あらす、意見用ひられされは官廳と雖も尙ほ且つ罵詈を加へて意とせす、罵詈を加ふるは即ち甚た惡し、然れとも斯の如き所より、往々にして事の成立するを見るに於て、彼の如き商業家も斯界の珍寶と謂ふへし、況んや斯の如き意氣込の下に初て成立せし、農商務省の商品陳列所や、實業練習生か、清國に對する我か商權の擴張に貢献する所少からさるに於てをや、彼の如き商業家も邦家の爲に、甚た必要なるを否む能はさる也、松倉氏は最近に於ては更に營口の醬油釀造所を開設し、盛んに其の釀造に從事しつゝあり、蓋し醬油の釀造も、清國に於ては未た其例少しとす、然り、普通の商人、即ち勘定に綿密に目先に明白なる者流にては、或は其の開設を躊躇せしや知る可らす、唯た夫れ彼は商人にして商人に非す、故に利益の一方を觀察すれは、即ち斷して之を行ふ、想ふに商權の擴張は、彼の如き商業家に依りて最も望むに足る、況んや新に創設の滿洲の如きに於てをや、松倉氏の商業家は國家の爲には甚た有益なる者也之を要するに、彼の商業は何れも多少の冒險を含まさるはなし、而て又た何れも國家の爲には有要の商策たらさるはなし、自ら冒險の事業を發案し、官　將た民に自ら奔走誘說して其實行を企圖し、更に自ら其の經營に任す、蓋し彼の彼たる所以にして即ち彼にして又た初て企に足る商業家として最も欠點多き松倉善家氏を目して國家の爲には必要の商業家と云ふ者、豈に故なからすや、抑も松倉氏の商業家を發心せしは、果して身の破滅なりしか。（未　完）

正誤

十四日の人物月旦（下の上）末尾に左の數行を脫漏せるに付茲に訂正す

斯て我軍連戰連捷、清國遂に勢窮し力盡きて降を軍門に請ふや、彼は明治二十八年兩國の媾和成立と共に通譯を辭任して、戎衣を解き再び以て算盤を取りて上海支店に會社の取引に從事する事となれり、蓋し彼の爲には寧ろ善き一時の氣保養にてありたるかな。

●づた袋

▲現國に忠勤を抜きん出た報酬として歐米へ恩賞的漫遊に出掛ける者が二人、長谷場純孝竹越與三郎▲板垣伯が岐阜で刺客に刺された時に眞先に駈付けたるお醫者は時の名古屋病院長で今の臺灣民政長官の新男爵後藤新平君のさうな▲英國で目下建造中の二隻の濾船は排水量が四萬一千五百噸速力が二十五浬で是が當分世界最大最速の濾船である▲曩にステツセルは軍法會議で乃木將軍幕下の參謀の召喚を望み今又チボカートフは新聞に卑怯なりと罵られて東鄕大將の證言を求むる筈ぢやさうな▲露助は皆お人善し過ぎる▲清國出洋大臣尙其亨は我藤侯の如くに視察先で屢々攀花折柳の粹事があるので上海の新聞に素破抜かれたが今度清廷は密電を澤公に發して尙其亨の品行に注意しろと注意をした▲蒙古土耳扈特王北京出發の際粛王盛宴を張り其行色を壯にしたが其時の詩に「兩戰洪波波戰風、兩般行色不爲空、何時同上崑崙頂一掃千年濁霧朦」とある

●滿洲座觀劇記（下）
朴　生

前口上に永々しい駄辯を弄して骨子の劇評とつまづいて居たが、こは我々の豫想せしとは案外の相違で迚ても余輩が評するなんて鳴許がましかつたので實は態と前口上で誤魔化して了つた譯である併し旨評御免を標榜して走り書きに試むる下馬評は初幕か

▲義經千本櫻道行の段　靜御前（伊勢氏）先づ第一は衣裳の立派さ上着は云ふ迄もなく下着繻絆に至る迄總て縮緬に緞子づくめ活人画としても隨分値打のあるに、容貌と云ひ、所作事と云ひ申分なく姫御前の貫目十分に榮あり殊に此役は仕てしてダレ場のあるにも係らず氣合の抜けざるには感服の外なし、忠信（春日井氏）は道のせり上げ、語氣も靜御前と意氣相投合して鬼とも挫しく觀客をして眼より雨を降らしめた、唯少々不足？と思はれたのは狐に反へる所少しく物足らぬ氣がした幕外狐六法は上出來〱、早見藤太（鈴木氏）上々吉の大出來殊に待てゝゝのせふ中に軍隊語と支那語を使つたのは餘程滑稽で觀る者をして臍の宿替をせしめた、軍兵（小杉、高橋、中村、野田の諸氏）御苦勞〱

▲恭太平記白石噺二階の場　宮城野（春日井氏）お職女郎の貫目充分、妹邂逅の處、癪を起す處、しぐさ、氣合一として批難の打つべきなし、妹しのぶ（伊勢氏）の出、田舎娘の面影充分見え殊に部屋の立派なるを見て呆氣の体、田舎言葉のせりふ、一入觀客をして同情を寄せしめて時ならぬ時雨、氏の腕前感々服々、禿しげる（竹内氏）大男の禿折角の愁嘆場も禿の爲め觀客一同に大笑はせば少々遺憾なれど軍隊組織の芝居なれば是非もなし亭主惣六（平川氏）憶に義侠ある大黑屋の亭主と充分に見えた、宮城野が癪を起す處へ我れを忘れて飛出す處、曾我物語を讀み聞かす處、殊に早く客座に出でよと宮城野を立たせ其顏では、涙をふけと年期證文を投出して、氣を附けよ情夫に逢ふのは十一時過ぎがよい、カチンと拍子木と共に幕引は大芝居〱

▲扇屋熊谷上總宅より鴨川迄　熊谷直實（春日井氏）無難の大出來なるも皮肉を謂へば姉輪平次との押問答今一息と云ふ所少々物足らぬ氣がした而し之れは對手方の未熟の爲か、娘桂子（中村氏）折子小萩實は教盛（伊勢氏）兩々藝に就て批難を打つ所なきも敦盛と桂子との容姿不釣合のケ所ありたるは殘念なり最も動作言語等にに餘程束縛があるらしいので愛千両と云ふところにて言葉をまぎらす點あり而しては座元の精神家なる爲めとて猥褻又は殺風景は斷じて禁じられたるに起因すとは是非もなし、姉輪平次（鈴木氏）熱情溢るゝ藝風は慥に見受けたが今一息の感あり、跡の諸役の方々は御苦勞千萬擬定の六時にて千秋萬歳樂となり實に近來の壯快にして何れの顏を見るも喜色滿面に溢れ我々一行は又も副官に導かれ官舍にて夕飯の饗を受け八時三十分の列車にて歸營す

●骨董錄

▲大阪神戶邊の運送業者間には甚た横着者が多くありて荷主より引受けたる荷物を半途にて彼の昔時和船の舟子が航行中帆待と稱へて貨物の幾部分を竊取せし如き不埒なる所行を爲し甚しきは托送貨物の全部を隱蔽して荷主に對しては行衛不明と稱し種々の口實を構へて補償金の支拂を數月間遷延せしめ最後に貨物原價半金位に相當する償金を出して局を結ぶ杯の狡猾手段を取る者往々ありとか。此程も大阪にて五万圓の資本金とか稱する或る運送會社にては此等の不正所行發覺し社長以下社員數名は檢擧せられ其筋の拘引する所となりたりと聞く。大阪の如き古來商業盛大の地にて隨つて商習慣も十分發達し居るにも拘はらす尙は運送業上に失態を演出したり。此回南滿洲鐵道輸送業者は相諮りて組合規約なるものを設け其第三條及び第十六條に於て如上の不正行爲を漠然撿束せるが如しと雖も元來區々規約の如き千章万條ありたりとて到底不正者の奸譎行爲を制裁し得へしとも覺へす殊に營口に於ける鐵道運輸業の如きは云はゝ草創事業にして且日清兩國人の共同に係り此間一の古例舊慣等の存するなければ一層大連阪送業者の二の舞の如き奸猾手段の行はれ易からんを恐る然らは則ち之を防くの道は如何ん曰く此際唯荷主は勿論當業者も亦相互に精細なる注意を以て運送業者の行爲に皿大の眼光を注ぐの法あるのみ。聊か營口の荷主及運送業諸君の爲めに轉ばぬ先きの杖を呈すること此くの如し（蒼然逸人）

▲營口花信　二日間の營業停止を喰はせた日本館のたつゑさんは惑赤門式流行紳士の手飼の鳥と爲つたので英語の鼻ッ端でも嚙つて置か無くちや不都合だといふので毎晩々々スペルリングのお稽古が始まつて居るさうなが此頃はもうアルハベットを暗誦したげな殊勝な仕込み方ぢやが餘りお世話が燒き過ぎると赤鬚を摘まみ喰ひすると爲りますぞ▲祇園閣のおふじ姐さんは到頭廢業したさうな餘り流行ッ兒許り置く者なさういふ結果に爲る▲金城館の金時さんといふ名の恐わい顏の優しいポチャ〱した三毛猫へ滿洲内地の酒舖をやつて居る或疋の阿呆鳥か引懸つて一ヶ月許りも流連けをした所へ又其朋友が來て阿呆鳥か一週間許り留守の間に金時さんを引懸けたので阿呆鳥赫として怒りお前全く手を切るなら落籍をしてやらうといへば朋友はお前阿呆鳥と關係を絶つなら俺も手を切つて善いといひ今は大悶着のさうぢやげな

▲上行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
新民屯至溝幫子	上 六、〇〇	上 九、五七
營口至山海關	上 八、二〇	下 六、〇〇
山海關至唐山	上 一二、一八	下 六、二〇

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上 八、〇〇	下 六、二〇
北京至天津	上 一一、二〇	下 五、四〇

梅毒婦人科 外科 專門日本醫院

稅關手續 船舶輸出入荷物取扱 荷物保管

諸鐵工製作 鑛山船舶機械鐵工 營口 川鐵工

天氣豫報 營口地方 自十七日午後六時至十八日午後六時

小説

新作小説 おとし胤 (三十九)

德田秋聲

後室と夫人とは、互に顔を見合はせて、少時無言。數馬も、煙草を吃しながら何んとも謂はぬ互に睨合だ。餘程經ツてから、數馬はまた口を利ツた。

「阿母樣も、嫂樣も、何故其樣なに光さんをお憎みなさる…………　嫂樣は兎もあれ、阿母樣には、眞實のお孫ではありませんか。兄樣が、御自分の過失をお悔になツて、斷然光さんを嗣子になされたのは、こりや人の道かと思はれます。園遊會をお開きになツて、親族の方々にお紹介なさるのは、當然の爲され方。ですから、お兩人共、我慢の角をお折りなさい。え、我慢の角を！　…………そしてお光さんに、園遊會のお周旋を爲てお進げなさい。」

後室は、頭を振ツて、

「おゝ、嫌なこと、のう。誰が、那の樣な女に周旋を爲て遣はしませう。同席するさへ汚らはしい！　私は、朝々、那女が參りましても口を利きましたことがありませぬ。いかさま海鹿の家は、子爵が所有ぢやで、子爵が好にするが可い。其方もまた、子爵と一所になツて、家の名に泥を塗るが可い。のう。園遊會でも、お祝のお酒宴でも、何んでも好なことをするが可い。私は、出ませぬよ、一切の其席へは、參りませぬよ。見れば煩惱、氣が重くなりますでの。」

「何うも困りますな。阿母樣は、何故其樣なに頑固なんでせう。」

「いゝえ、數馬さん。阿母樣ばかりではございませぬ。私も、頑固でございます。」と夫人は、片頬に皮肉な笑を浮べて、私も、園遊會の席へは出ませぬ。また私の親族の者には、一切出て貰はぬやうに致します。」

「それぢや嫂樣も…………」と數馬は、些か呆れた躰で、「嫂樣も、何んですか。何うしても今度の園遊會に不賛成でございますな。」

「はい、私は、當家の召使では無いのでございますから、其樣なに踏付にされて居りません。」

「それでは、破壞だ！」

「固より破壞でございますとも！　今度の園遊會と申しまするは、海鹿家の何んではないのでございます。所夫お一人の園遊會で、私等には何んの關係も無いのでございます。」

此う謂出されては、平常から我執の念の強い御氣性。少しでも折合はれるの、心を曲げられるのといふことは無い。

數馬は、それを能く知ツてゐる。最早强ツて爭ふも無益と思ツて、歎息をするばかり。ムツつり口を噤むで了ツた。彼は、母の主張の底意を知らぬでは無い。皆自分の身を思ふての慈悲から出た妄執とは、能くも知ツてゐるのであるが、彼はまた、其の妄執を情なく思ふのであツた。正ないことゝ慨いてゐるのであツた。そして家庭が此くも簡々に分立して、衝突、紛紜極度の不和合とあツては、海鹿家が何うなりゆくことか、それが氣遣はれるのであツた。

殊に、先年子爵が政党に關係して、政治的生涯の蹉跌、また馴れぬ朝鮮の山林事業に手を出して、其の損失に財政の缺陷。此の重々の失敗に子爵は今や失意の人！　口へこそ出されぬが、恐ろしい煩悶に惱まされて居られるやうにも見受けられる。其の故か、近頃頓に刀氣が沮喪しゝやうだ！　急に鬢髮の白くなツたのを見ても、其の苦勞の程が推察される。昔し、鬱勃たる覇氣、潑溂たる意氣、冷靜なる態度、其等全て政治の壇上に立ツて活動された要素が無くなツて來たやうだ、それで、夫人などは一トロに、

「近頃滅切悦けられました。」と謂ツて居られる。

成程悦けられたに違ない！　老來悔多しとは、子爵の今のお身に適切な諺かと思はれる。それで我執の念は募る、氣は短かく、粗暴しい振舞も多くなる。猜疑心も募る、邪推も出て來るといふ有樣。たゞ僅に四季の花いじり、園藝に依ツて、胸中の悶々を慰めてゐられるやうであるが、これとても必ずしも子爵に活を入れる石炭とは謂はれない。

然るに、夫方を始めとして、誰も失意の子爵を慰藉する者が無い。そこで急に迎へることゝなツたのが、花の少女の光である。子爵は、園に咲いた花に慊らずして、自ら作られた解語花を迎へて、惱のある、淋しい心を慰めやうとせられたのであツた。ところが、一家を擧げて、此の反抗、此の迫害である。

數馬は、其を思ふと、子爵の心を察して、自分の事のやうに胸を痛め、また此の輸しい浪の中に立ツてゐる光の身の壓苦さを思ツて、謂はれぬ哀を感じてゐるのであツた。

「あゝ、困ツたものだ。何うかして、家庭を圓滿にする工夫はないか。」

と考へてゐる折しも、輕い下駄の音がして、それへ現はれて來たのは、光！

數馬は、悪い機にと思ツて、ヘツと思ツた。果せるかな、後室も、夫人も、謂はせたやうに、鋭い眼で、ぢろり、光を睨むやうにするのであツた。

廣告

東營口郵便局東隣 ●島田洋服店●

新民屯停車場前 ●同 支店●

競爭入札廣告

第一號 一搗粟 約四百石

第二號 一籾粟 約六百石

第三號 一稗 約六百二十石

右賣却す買受け望の者は四月十一日より四月廿六日迄に當支倉庫に出頭入札心得書、契約書案及現品熟覽の上四月廿七日午前十時迄に入札書を當支庫に差出す可し即時開札す

此契約は滿洲軍倉庫奉天支庫長橋元勝造擔任す

明治三十九年四月十二日

滿洲軍倉庫奉天支庫

一料理用白味噌、赤味噌、
一煙草類、東京淺草海苔、木炭、萬醬油、白米、鰹節
一罐詰類、
一瓶詰雲丹、酒盜、コノワタ、
一清酒澤龜特約並に瓶詰、
一酢、ビール、葡萄酒、洋酒類、

其他日用品乾物雜貨新荷着仕候に付多少に拘らす御用仰付られ度人て奉願上候也

東營口永世街第廿八号

雜貨商 大原洋行

森病院

一診察 自午前八時至正午十二時 午後三時より 自午後三時至午後五時
一往診

▲患者ノ入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
▲姙婦の入院を諾す

院長 醫學得業士 森嬌 (產婆大道しげ子)

副院長 醫學得業士 長船郁太郎

◎院長森嬌久敷歸朝中の處今般歸營診療に從事す

◎本院齒科開設 齒科醫 兒島市郎

五月一日ヨリ開設ス

森病院 (電話一五五)

時下艶春花を見るの好時機と相成候處各位益々御清康の段奉賀候陳而弊館儀料理部開店以來幾多諸君の御愛顧を辱し深く御禮申上候隨而今回旅館部開設いたし室内の衛生裝飾等細大漏らさす御客樣への御便利を充分注意致し候間重ねて御引立を蒙り度此段伏而奉願候 敬白

營口二本町 祇園閣旅館部 主人 (電話一四四番)

各位

歐米各國最新流行形

西海洋服店

永世街一四一(森病院三軒目) (電話百二十七號)

日華貿易兼運輸業

昨年來御引立を蒙り候本公司は昨年平和克復後暫く休業中に候處今般更に開業仕り業務聊か擴張仕候間倍舊の御愛顧偏に奉希上候以上

月 日

元神廟街二四八號(電話局向)

義安公司

安富小太郎

和洋雜貨

盛進商行

新着

椅子　卓子。窓懸。
卓懸。花莚。マット。
油多加織。ビロードセン。

木村寫眞館

最新流行之

寫眞撮影法に附ては叮嚀且迅速を旨とし光線の配合及位置等に尤も注意をなし各位の御嗜好に任せ撮影可申上候弊館は更に一大勉强をなし價格の廉なるよりも進て調製方を叮嚀になし寫眞一組毎に一枚を相添可申候事に相定申候

營口二本町

御手輕料理

一釜飯御一人前 五十錢より
一卷壽し 一本 十五錢より
一湯豆腐 一壺 廿五錢より
一東京壽し 一人前 卅五錢より

右之外御誂に應す

月 日

營口元神廟街二〇九號 翁亭

一關内外蘆漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候 但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ事務取扱
一海關手續
一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候

營口西北街第二七二號

大清通運公司 營口支店

大阪商船會社荷客取扱所
内外船舶代理係貸借仲立
輸出入税關手續
解船人夫運搬請負
水陸輸送貨物仲次所
諸品委託 倉庫業

瀛船出入案内

英航丸 神戶行 十九日出帆
能登丸 十九日入港

御乘船の御方は御一報被下候へば切符持參可仕候尚御手廻荷物は當店送達組に御用命仰付被下度奉願上候

西北街 德重洋行

營口中央市場前

萬事勉强乘車乘船好位置

旅館 東京樓

店主 熊田兼次郎 (電話百七十八番)

西洋料理仕出し御需に應ず

御席和洋料理 東京樓支店 (電話四十四番)

廣告

●金露印日本酒 七百樽

右來る四月廿一日正午茂生洋行(イー、エー、サーゲエント會社)構内に於て競賣に附し可申候

競賣人 ヂエー、コツク

和洋御料理 一力

舌代

弊店儀開業以來各位の御引立に預り日增隆盛に赴き候段奉鳴謝候隨て今般各位御愛顧の萬分一に酬ひん爲め内地より有名の料理人並に藝者仲居を呼寄せ殺風景なる滿洲に得難き珍味と快感を相供度座席裝飾に至る迄凡て一新致候間續々御來遊被成下度奉希上候

樓主 敬白

和洋會席 御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候

營口永世街二本町 日本館 (電話百三十)

各位樣

お料理 滿月

滿月支店 (元都樓跡)

店主 [illegible]

料理部開業披露

弊館是迄旅館專業に御座候處今般新に料理部を開設し聊か紳士諸君の御引立に報ひんと存候就ては座敷向き等も凡て改築仕日本式の粹を拔き藝妓仲居も弊店付として内地より二十五名計り呼寄せ特に料理は東京有名の厨士を聘し材料に乏しき當地にては不可得珍味佳肴を供すべく一切の準備相整ゐ本日より安直を旨とし開業仕候間何卒賑々敷御來遊の程偏に奉希上候

追而料理部開業と共に旅館部にも改良を施し御客樣の御便利御計可申候間不相變御引立の程願上候

旅館 第一營口ホテル

料理 第一樓 (電話八四)

廣告

當公司今般業務擴張の爲め特に敏腕熟練なる技術者數名を聘し公私を問はず和洋各種の建築及土木事業に關する製圖設計監督の依托に應し最も懇切敏速に處辨す

建築部主任技師工學士 森川範一
土木部主任技師 永原万吉

營口元神廟街第百七十二號（電話一七三番）
土木建築請負業 井上公司

萬代不朽 毛製屋根瓦ラバロイド及リサイト販賣廣告

ラバロイドルーヒングは堅牢にして極寒炎暑の候に耐へ如何なる地にても不適の場所なく龜破損漏水の憂なく良く極寒炎暑の地に適し床及階段等の敷物に有効なり
リサイトは室内装飾塗料にして通常ペンキの如く臭氣なく變色の憂決してなし

米國紐育スタンダードペイント會社東洋特約一手直輸入販賣元穴原商會營口特約販賣店
營口元神廟街第百七十二号（電話一七三番）
井上公司

醇良自釀清酒

ヱジプト煙草
インペリヤ（金口）
ヱキスタラフワイン（キルクロ）
右特約仕代價者精々安價にて賣出し候間多少に不拘御用命被下度候

牛莊港東營口
宅合名會社
營口支店

着荷 新

舶來新式婦人用小間物
春夏帽子襯衣靴下
新柄反物
最新雜貨
並に附屬品 謄寫版
風月堂羊羹
盥湯利用香煎各種
（營口新市街關帝廟街元）
天盛洋行
（電話二百七番）

銘酒 白鶴 諸雜貨

今般新荷着仕候に付ては卸小賣とも是迄の賣直段より壹割引
酒及米、罐詰類は五歩引を以て販賣仕候間多少に不拘御用命被仰付度偏に奉願候 敬具

營口元神廟街 井門洋行
遼陽西門外 仝支店

大日本東京
本山崎帝國堂藥房處修舖

腦丸 天授

天授者天下多多有咳嗽藥中之冠也
たんせき、ねつさましの一切の妙藥

腦丸者天下唯一之腦病靈藥也
腦病の名藥にして他に類なし

大清國
營口大街（永世街二本町）
藥司洋行 淺野爲三 藥劑士
福壽堂大藥房
總批發處
醫械藥材有名靈藥 總發賣處

發賣 材木 標子 木板
塩川商會

清國營口二本町二五五號
主任 盥川峯吉（電話一三六番）
遼陽小西門内 盥川商會

●建築用材北海道産松大角（自廿五尺至三十尺）二万立方尺餘
外に電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

日本有名秘藥 總賣捌 廣告

● 大日本帝國有名方劑 賣藥一切
● 化粧品 並一小賣

右内地と同樣の廉價を以て卸小賣共に仕候間多少に不拘御用命被下度候 電話にて御注文被下候へば直に持參可仕候

大阪谷回春堂
營口永世街 三木洋行（法部隣）警務課總售處
天大藥房（電話百九十番）

婦人用一切香料及各種髮藥 本日本有名秘藥總賣捌を引受け ……（以下小字判讀困難）

同 三木洋行
天大藥房（電話百九十番） 敬白

業務擴張

弊所儀從來活版印刷業罷在候處今回業務擴張の爲め印刷器械並に歐文活字を購入し更に歐文印刷部を新設し且つ技術に熟練なる職工を聘傭致從來の御高恩に酬がため非常大勉强仕高需に應し可申候條尙不相變倍舊の御愛顧を垂れ御用命被仰付度伏て奉懇願候 敬具

活版印刷 幷に製本
弊所特色
●印刷鮮明
●價格低廉
●叮嚀專一
●期日正確

營口入口永世街東二本町角
川本活版所

大日本政府特定 官製口付紙捲煙草 滿洲一手輸入發賣

江副洋行
營口永世街

胃腸病新藥

消化劑
糖化素
医学得業士 矢島氏發見
滿洲特約一手販賣
東瀛大藥房
營口大街

本劑專治脾胃失調飲食不化之諸症飯後脾胃疼痛過用米麵積滯腹泡脚飲心驚婦人懷孕惡嘔吐之症熱病後脾胃未平於調和又如食後胃口不開肝胃氣痛肚腹彪脹兩便苦澁之諸症均有奇効
發明者日本醫學得業士
矢島猴太郎 謹白

攝津灘石崎合資會社釀造
大日本帝國醫科大學模範藥局御用

醇良清酒 澤之鶴

滿洲特約大販賣
（周）
清國營口西北街
裕和盛號支店
電話八十一番

東清鐵道裕和盛運輸局
大連湖北彩票毎日賣出

○西洋□□雜貨
○日本西□□鶴樽詰瓶詰
○洋酒食料品各種
○和□□草各種
○□□類各種

○支店韓國京城、仁川、木浦、鎭嶺、芝罘、梅香崎

澤之鶴は 美人ある評定の……既
裕和盛は 商中日本通の張本！

美味安價西洋料理
牛莊亭

惠比須ビール新荷着
●金升洋行
●盛進商行

時刻

唐山至天津	上六、[illegible]	上一[illegible]、[illegible]八
塘沽至北京	上六、〇〇	下一二、〇六
天津至北京	上一二、〇〇	下五、二〇
山海關至北京	上八、	下六、四五
天津至山海關	上六、二五	下一、[illegible]
唐山至山海關	上六、〇五	上一一、二一
山海關至營口	上七、〇〇	下六、五八
溝邦子至新民屯	上三、〇〇	下六、五五

輕便入院　永世街警務課ノ前

一、引換書御送附ニ相成レバ諸費立換ヘ配達致シ保管可申候
市場北三階樓 時計店ノ二階
宮原公司
土木建築用鐵材料其外諸物諸般

昨日の氣溫
昨日最高溫度六十六度 最低溫度三十八度
昨年との 最高六十五度 最低七〇

宮門抄

二十一日

外務部 欽天監 侍衛處值日無引見 荊州將軍卓公請訓
瑞齡嵩連梁敦彥伺候 召見 侍衛處奏派前備引大臣
派出宗祐 祺誠武 阿霖
召見軍機 瑞齡 嵩連 梁敦彥 卓公
外務部遞封奏二件

奏議

黑龍江將軍程奏江省遵行新法擬請添設偵探學習館摺

奏爲江省遵行新法擬請添設偵探學習館以收速效恭摺仰祈
聖鑒事竊維上古風俗敦厚不刑而治初無所謂法律也後世人民衆多情僞百變飲食男女利害交際之爭日尋無已欲使臣民有所儆畏始定律書亦不過濟禮教之窮而已我
朝厚澤深仁超越隆古近年以來改訂法律凡凌遲梟首戮屍緣坐刺字諸條永遠刪除而尤以禁止刑訊一事再三諄誡仰見
聖德如天以至仁涵育群生之意欽佩莫名奴才嘗考東西各國訟例設問官以主判斷設陪審以資稽察設律師以資辯駁務期準情酌理剖析至當而後獄成所謂疑獄與衆共之也此外另設偵探若干員伺各案蹤蹟之所自來補各捕耳目之所不及以聰明幹練熟悉各處情形者充之職務既重俸工亦優重大疑難之案無不立時破獲者實出偵探之力居多中國向來無此名目惟通商口岸如上海香港各租界仿而行之至於地方衙門縱有額設快班皆以至愚極賤之人濫膺斯役求其認眞捕務已不多覯若以警奇詭譎之端責成查訪而平時知識有限安能有濟於事從來審理訟獄大抵以早結案少傳人爲第一切要之訣惟邇來刁健之風日盛一日不特江省爲然勾串人證密謀陷害粉飾供詞巧圖宕延者所在多有其或案關死生出入犯生叠次狡展勢必牽連無罪之衆經年對簿廢時失業莫過於此甚非體恤民隱之道奴才忝握疆符視民事如己事每一念及無不惻然於懷茲擬亟救其弊非添設偵探不爲功雖近時辦理巡警已有偵探之意隱寓於中似無庸特立新名致多繁雜然欲速於收效必先專其責成擬于省垣設偵探學習館一所訪聘西國之精於斯道者一二人充當教習略仿學堂規則選擇候補投効人員及本地二十歲以外中學已通之聰穎子弟入館肄業研究各國偵探各書所載案情並隨時詳繹醫學化學各理推廣洗冤之術定以三年爲期仍由奴才分別考取發卒業文憑嚴立權限分撥各府廳州縣佐輔新政案中眞僞虛實以及一切曲折底蘊不難察訪而得除案要人證酌傳數名外其餘概可免傳自不致波及無辜則拖累之弊可除官之於民至親至切本不容稍有隔閡今既設立專員承認察訪之責或有下情不能上達者皆可於察訪得之則壅蔽可除情既得矣破案必速隨結訟獄且爲之濟疾病疫斃之苦自爾較少則積壓之弊可除平日講求洗驗之法人命重案自無錯誤死者之冤得以早伸則屈抑之弊可除即官得臂助之力彼此於公餘暇日各舉心得互相考證互相詰駁則精義自出法學必日有進步而惰玩之弊庶幾率之整因陋陳臚 可除 勤求民隱本奴才分內當盡之職區區所見勿何補於民生與法令隨世運爲轉移案情經諮訪而確遵古繹留獄之戒恭體
皇太后 皇上省刑之論矯推及此或變法自強之一端如蒙 採擇應請
飭下法律大臣刑部核議施行所有擬請添設偵探學習館緣由理合恭摺具陳伏乞
皇太后 皇上聖鑒訓示謹 奏奉 硃批刑部巡警部議奏欽此

北京電報

●交附郵務之說 據風聞云中國總稅務司羅巴地哈多君將所其管掌郵務一切不日當交附於中國云

●輪船開航之預備 此次西比利輪船公司擬於黑龍江松花江開始航運刻在其預備中云 (以上西四月十六日發)

東京電報

●蒙王到東 日前蒙古土爾扈特王爲遊學由北京前往日本上昨已到東京云

●臺灣再起震災 日前臺灣有地震之災未幾於西四月十四日嘉義地方又復陡起震極劇烈房屋人畜之被損害者頗多云

●總督晉謁韓皇 大島總督刻已到韓京於西四月十八日與貞鍋中將當晉謁韓皇云

●俄人未往安東 安東縣定於西五月奉天府定於西六月一律開放爲自由通商之埠一事已經登錄報端然因日俄軍隊撤退但規尙未准俄人前往該地云 (西四月十七日發)

倫敦電報

●意國噴火已止 意國噴火之慘狀已誌報端聞降灰全熄天色清澄撤斯撒烏斯山峰舊依舊烟燄毫無刻民人安堵各從事家業云

●俄國議決緩期 第二次平和會議因美國政府之要索俄國政府已議決緩期云 (以上西四月十五日發)

中外要聞

●魯撫贖路濬河之政策 上年楊蓮帥之涖任也欲開濬小清河行駛小輪以聯絡省垣與北郡一帶而振興商務夙與該地商中礎商擬從速籌欵開辦是世人所共知也然濟南府距小清河岸約八九里運往貨物一由車馬之力稍有不便之處故楊蓮帥欲築小段鐵路自濟南抵小清河岸以便交通上年與德國膠濟公司訂約歸該公司代造其築路欵項由商務局定期賠欵贖歸東省自辦茲聞日前楊蓮帥電致外部略謂濟南抵小清河小段鐵路刻已償款贖回歸中國管理云云按欲修濬小清河行駛小輪以聯絡省城與山東北部實爲楊蓮帥之政策究爲德國所不願也蓋此政策如見實行則濟南一帶與山東北部交通頗加靈便濟南一帶商貨皆行於此而膠濟鉄路受其影響大見蕭索矣夫膠濟鐵路商貨不多則青島商務必爲減色小清河水運益致靈便則烟台商務必見起色此勢所使然而德國所以反對此策者亦不外乎此雖然以山東省利害論之不但山東中央商務從此益見振興其餘於政治上社會上所享之利益亦決非淺鮮吾望楊蓮帥速行其新政以開通東省風氣云

●西報論中國進步之速 紐約商務報近著一論略云中國民之運已日開進步甚速有令人不敢輕視之者昔拿破崙爲世上之大英雄曾有言曰中國將來睡醒之時地球各國皆大改觀拿破崙此言非是妄語昔拿乃絕大聰明之人後來之事可以前知所以中國近日猛醒銳意發奮改革方殷想世界上誰敢不注視此龍旗輝映也吾聞中國居民多近水濱環球列國以船爲家者當以中國人爲巨擘向者各國強與中國通商交易皆以大炮之利害恐嚇而威逼之揆之公理大爲不合惟中國與各國通商交易自無怨言中國學生之留學於外國者大不乏人使學生等能知外國通商之利益倣其法歸而行之中國運動其人民而喚醒之此時中國人皆識通國之利益必有招徠於外國使同心買牽車矣

●臬准設立工藝公司 河南尉氏縣紳士劉姓爲汴富紳刻因汴省素不講求工藝特集欵開設工藝公司專備研究工藝之學前經稟陳撫院茲聞已奉批准不日即可開辦云

●開辦警察之預備 聞省廈門近擬舉辦警察惟因教習乏才必須聘請日人始克有濟現聞廈紳林景商觀察議派遣其弟前往臺北留學警察蓋臺北爲漳泉人移殖之地現行警察法含有舊慣之精神且有約束鴉片之法律於中國現狀尤爲浹洽聞林紳已稟請廈道照會日本領事通知臺灣政府云

●戶部與籌鴉片專賣法 聞戶部迭次與膏捐大臣柯侍郎電商鴉片專賣法前次八省膏捐大臣名目現已改稱爲各省膏捐大臣其衙署仍設于宜昌在北京設各省膏捐總局隸于戶部其各省每省設一總局南省隸于宜昌膏捐大臣北省隸于京師總局將來鴉片之專賣權即由辦膏捐人員辦理現在計劃一切

●德向中國欽使言速開黃浦 中國出洋大臣端戴二欽使此次前往漢堡及普列綿二埠現已考察漢堡及北德路伊杜二輪船公司乃由該地航業者向二欽使申明黃浦水路改訂延遲一事於航務尤有窒礙願從速妥議以設辦法於是由二欽使答以亟當電請南京及北京辦理

雜報

●中國郵信館之開辦 因在滿洲日本軍之撤退漸次交付其郵務於中國刻已於岫巖大孤山二處開辦中國書信館已經特派在營口遞送人之練熟事務者前往想嗣後該處郵務之確實不問可知又聞鳳凰城不日亦當開辦云

●破格求賢 近日 朝政翻新人才消乏凡身膺疆寄者靡不延攬賢豪資藉臂助茲查有營口釐捐局總辦忠太守藎臣籍隸奉省肆應多才操守廉潔經次帥奉留本省補用是破格也又鹽捐局總辦魁太守星階老成諳練体用兼賅次帥現擬調省俾以重寄而江省雪帥復奏調前往古云國士無双今竟無獨有偶矣

●自戕同類 聞海賊搶刼財物按股酌分目弁大相差等聞釋回諸票所云有一賊李姓爲第二首領因其搶刼出力一人自作二股致忤賊首之怒用槍將李射斃該賊等豺狠其心蛇蝎其性不惟搶刼擾民爲地方之害抑且見財忘命戕及同儕

NEWCHWANG, WEDNESDAY, APRIL 18, 1906.

A Kindness That Is Not Wasted.—(Part XIV.)

So, the evacuation firecrackers have popped off in a miserable failure. It would be ridiculous pretending to see in the big fiasco the masterly diplomacy of the able German Minister. We would fain jump at discrediting every idle rumour that has connected the fizzled-out scheme with Germany's gallant championship of Chinese prestige.

For aught we know, her proposal at Peking for a joint withdrawal may have been prompted by no less nobler a motive than to see the other Powers adopt the same happy cure for the 'East Asiatic madness.' Her zeal was sadly misplaced, it is true, but it being none the less fraternal might have been taken by the Powers in perfect good nature, if she had stopped at merely proposing it. Then they might have relished the composing reflection that Germany's repentance of her folly was after all genuine.

As the case has been, however, she has gone too far trying to force the proposal on the others. And, on the other hand, when it failed to find support, she has divided the blame between China and the Powers. China was to blame for her incompetency to preserve order in her land. (Could this be the reason for Germany's leaving the 700 men? If so, where should her advertized trust in China come in?) Again the Powers were too selfish to think of China's welfare. There was no country on earth so true and devoted to China as Germany. The evacuation has put German friendship to a test and has more than satisfied China. 'Germany has edified herself in China's eyes at the expense of all the others.)

Mr. J. Itami, Vice-Manager of the Freight Department of the N. Y. K. and Mr. K. Harada, Director of the Company and the Manager of the Osaka Branch, arrived last Monday evening from Tientsin. The visitors, after making a visit to Tairen, will pass through the port again back to Peking thence proceed to Shanghai *via* Hankow, before returning to Japan.

We are informed that Dr. D. Christie of Mukden has consented to giving a lecture on general sanitation at a regular meeting of the Wan Kuo Yen Shuo Hui (the Chinese and Foreign Mutual Improvement Society), which is held twice a month on the 10th and the 25th day of every Chinese Moon, at their club-room at the Temple of the Fire God. To-day falling on the 25th day of the 3rd Moon, the popular surgeon and scholar is anxiously expected to arrive in good time.

To our great regret we learn that Rev. Mr. J. Carson who started on a preaching tour of the Kwantung Peninsula last Thursday, was obliged to cut his programme short and hurry home from Kaichow last evening at the news of Mrs. Carson's illness. It is hoped that there is nothing serious in the condition of the lady and she will be about again very soon.

It is found that the anchor which remained lying at the mouth of the River was removed by the Customs authorities some days ago.

An execution will take place this afternoon at 2 outside the Pu Yu Men (阜有門). Wang Pu Chen (王輔臣) 29 years of age has been convicted of the murder of an old coolie named Chu (朱) who lived in the same house near the Temple of the Fire God.

Chu being the better-off of the two used to help the other in many little ways, who formed a secret plan to do away with him for his savings. On Feb. 2nd last, Wang procured 20 sen worth of opium, part of which he smoked. The remainder he mixed with some black sugar and dissolved it in a cup of hot water. He then offered the solution to Chu as a tonic and awaited the developments. 2 hours later he tried the partition door, but finding it bolted, broke through the wall, only to find the victim suffering great agony from the effects of opium-poisoning. The murderer strangled him to death, and proceeded to ransack the room, taking away some money and clothing. He fled out of town early next morning and kept in hiding in Hsinmintun for some time, but was identified and put under arrest on March 20th last, the day after his return from the north.

營口旅館料理店案内(いろは順)

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館料理 高砂ホテル 高砂亭 西北街 店主片山小みつ(電話一四五番)

旅館 竹村館 永世街二十二號 店主 麻田久二(電話五一)

旅館 大和館 永世街三十四號 店主 前田九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豐濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 店主 和田常松

和洋御料理 公樂園 南永世街

東京 生蕎麥 一式 東庵 元神廟(電話百五十九)

旅館料理 金城ホテル 第二金城ホテル 永世街百六十六號 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

料理旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口元神廟街

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

きるそば さるそば 第一更科 第二更科 營口元神廟街 永世街鶴の角

御料理 柳亭

御料理 叮嚀專一 豐濟門街二三 店主 玉岡益人

御料理並ニ溫泉 一力 毎日新湯 營口永世街 店主 堀万助

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一四三号 住松信太郎

料理 都樓 平野町 店主 坂本ちか

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 井上源吉

御料理會席 菊水館 主任 朝枝團[illegible]

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之函

御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 玉家

御料理 主任 西野治三郎

御料理會席 來々亭 主任 石田清

和洋料理御旅館 滿洲ホテル 遼陽西卷西門一一七号 上松榮治郎

一和洋御料理 遼東館 遼陽城内東街

本館は遼陽城内第一繁盛の地にあり内外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏荘美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得べく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彥に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

奉天旅館料理屋案内

旅館 奉天館 奉天城内鐘樓南大街 奉天軍政署指定旅館(電話一五)

和洋御料理 日清倶樂部 奉天大南門裡大街(電話一四)

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉(電話 號)

會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西關大街北側(電話 號)

旅館料理店 日の出樓 溫泉付大勉強キレーデヲイシヒ 奉天小西門通(元紅葉館跡) 樓主 大瀬七造(電話十七號)

旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南 館主 入江貞男(電話 號)

旅館料理店 梅松館 奉天城内灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎(電話 號)

旅館料理店 大和館 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井コノ

旅館 大正館 奉天小西邊門外十間房道北側 館主 大草村行

奉天に於ける日本風新築家屋は弊館より外に無之特に夏期御宿泊には最も適すべき樣に相成居候間御投宿の節は極めて丁寧に取扱可申上候以上

御旅館料理 高砂館本店 奉天十間房 五號

高砂館支店 奉高館 奉天城外廿四 店主 宇本智平

旅館料理店 日奉館 奉天小西門外大街 館主 原田清五郎

高等旅館 東洋館 奉天大西門外小什字街(電話號) 主任 藤島初野

御料理 梅ケ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

旅館料理店 勉強館 奉天小西關外七長發園隣

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北(電話二十五號)

撫順炭大販賣

多少に不拘御用命被仰付度願上候 金城館販賣部

特別室落成 營口金城ホテル旅館部

會席御料理 金城館

奉天小西門外 會席御料理 高等御旅館 金城館

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.

Plans and specifications made to order.

ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

自造 煉瓦●瓦 並に各種石材販賣 營口青堆子 加州組(電話八十六番)

材木荒物販賣 營口永世街第一八四號平野町 秋田洋行 本店 下關 秋田寅之輔商店

着荷廣告

筑前博多單帶、全伊達卷、御召類、セル地、ゴム引防水布外套、錫製品各種、輕便水濾器械、洗桶・專賣特許米洗器、等勝手道具いろ／＼ 萬年筆、洋菓子、ネクタイ、洋傘、

營口 加藤洋行(電話八十番)

四月十八日ヨリ全廿八日マテ本社事務員全診査醫當地滯在契約ノ御便利相計リ申候

明治生命保險株式會社牛莊代理店 加藤洋行

工 營口元神廟前 飯塚工程局材料部(電話百三十五番)

弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候

一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

大連 東洋ホテル 大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町

西洋家具製造販賣 營口青堆子 清水寧木局(電話九十四番)

發賣 料木、杆子 一丈一 一丈二 亞鉛枚、白糖、醬油、日本米、菓子、麥麥酒 雜貨一切卸賣 日本酒春駒一手販賣 捌荷洋行 營口元神廟街(電話一四七番)

爲替相場(四月十七日)
日本向 九十九圓五十錢(軍票百圓に付)
上海向 七十一兩二十五錢(同)
天津向 一百〇二圓五十錢(百弗に付)
芝罘向 一百〇三圓五十錢

日本品最近物價表 加藤洋行
紙類
一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙 全 七圓五十錢
一仙花紙 一帖(六十枚) 六十錢
一状袋 二十枚續 三錢二厘以上四錢
一全 百枚 十三錢以上十八錢
室内裝飾品及寢具 矢野洋行
一滿圓 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
一座ブトン 十枚 五圓五十錢以上三十五圓
一[illegible] 五十錢以上十四圓
一疊表 二圓六十錢以上三圓
一薄椽 十枚 入圓
一麻緞通 全 疊敷 三圓
一綿緞通 全 三圓五十錢
一由加多織 [illegible] 一圓七十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.
$4.80 per 6 months.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ヶ月前金 銀八十仙
半ヶ年前金 四弗八十仙
一ヶ年前金 銀九弗六十仙
廣告 二十一字詰一行一回 銀二十仙